

「どんな人にも住みやすいまち御池台」を 目指して

大阪府堺市南区 御池台校区連合自治会

御池台の開発経緯

御池台校区は高度経済成長期に開発された泉北ニュータウンの一角にあります。まちびらきは1978年に入居が始まりました。3686世帯、(2023年12月現在)のまちです。開発から40年以上が経過して、少子・高齢化が顕著になりつつあります。まちの活性を維持するためには、まちが元気で若者に魅力あるまちでなくてはなりません。

2016年(平成28年度)から『どんな人にも住みやすいまち御池台』をスローガンに活動計画を作成して、校区連合自治会、校区福祉委員会、校区自主防災会、自治型福祉NPO法人等が連携して活動しています。

「どんな人にも住みやすいまち御池台」

御池台校区地域福祉活動計画

(2016～2025)

【御池台校区地域福祉計画】とは「御池台がこんな地域だったらいいな」というみんなの想いをまとめたもので、ひとことというなら「理想のまちづくりのための計画です。(御池台のみなさんから集めたアンケートやワークショップでの意見をもとに作成。(中間見直し2021年・2025年)大きくは3つの目標で計画・活動しています。

1. みんなでつくる御池台

―自治会による住民の居場所・つながりづくり、つながりの場―



御池ふるさと祭り(子どもだんじり)





防災訓練

みいけの祭り(夏祭り・子どもだんじり曳行)は、御池台はニュータウンという寄り合いのコミュニティゆえに、自治会が中心となって皆が楽しめる行事として自然発生的に祭りが生まれました。御池台で育った子どもたちもふるさととして帰って来やすいように夏休みに「御池ふるさと祭り」を行っています。祭りは住民の一体感の醸成につながっています。(2023年で26回開催しています)

若い世代とのつながりとして、「ぞうさんクラブ」は未就学児童の子育てを支援、ママ・パパたちの応援事業です。御池台で育った新成

人を地域で祝う「二十歳の集い」は新成人のお母さん方が主体的に運営し、連合自治会は裏方として応援しています。「みいけファミリーマラソン」は親子やシニア世代も地域を楽しく走る行事です。2024年で5回を数えます。

住民どうしのコミュニティとしては新聞「好きやねん御池台ニュース」(発行部数3100部)を毎月発行していて300号を超えました。地域で行われた行事の記事や参加した方の感想など、これからの行事予定などを掲載しています。若い人向けにはSNS等で情報発信しています。

2. 安心して暮らしていける御池台

— 住み慣れた家で生活できる住民どうしの支え合いづくり —

災害に強いまちづくり・防災訓練(春・秋の2回/年)。各戸の安否確認から避難訓練、避難所の運営、食料配布、救急救命など地域に即した訓練を実施しています。

御池台もご多分にもれず少子高齢化が進み、地域内にあったショッピングセンターは業者撤退により商店の閉鎖が相次ぎ「買い物難民」問題が発生しています。地域会館周辺にニーズにあった移動販売車の業者と交渉して食料品等の買い物に対応しています(現在4回/週・4業者)。

お助けバス(オンデマンドバス)の運行、福祉施設と連携した相談窓口等々。食・交通・医療という生活に密接な、かかわりの不安を払拭し、住み慣れた地域で生活できるため住民どうしの支え合いで安心を築いています。

3. 学び育ち合う御池台

— 子どもの学び、生涯学習、豊かな生活を送るための文化的支援等 —

未来を担う子どもたちの安全を確保するため、「みいけ子ども見守り隊」(リタイアした元気な高齢者やPTA、連合自治会役員などで構成)は登下校時、通学路の見守りと青色パトカーに乗車して校区内の安全確保に努めています。また月に1回、自治会の役員・青少年指導部と交通防犯部と合同で夜間パトロールして校区内の安全と青少年の指導にあたっています。

障がいがあっても、高齢者になっても住み慣れた地域で文化芸術を身近に楽しむ行事が行われています。プロの落語家による「みいけ寄席」(公演1回/年実施、2023年で11回開催している)。生の本物のクラシック音楽会を地域の子ども園で楽しんでいます(テレマン室内オーケストラ、ピアノコンサート等2023年で12回実施)。

生涯学習として大人も子どもも参加できる



みいけ子ども見守り隊

「みいけ学校ごっこ」を開催。住民の希望を元に講座を決定し、小学校の教室で学びます（狂言入門・染め物教室・遺言書の書き方など20コマ／30コマ程度／日、1回／年）。

「御池文化祭」では趣味の発表・展示に加えマジック・コンサート、模擬店の出店などあり、ファミリーから高齢者まで楽しめる行事となっています（2023年で31回実施）。

健康づくりの教室も数多く開催されています（元氣あつぷ教室、筋力アップ教室、物忘れ予防教室、健康マージャン等々は毎週若しくは隔週に開催）。高齢者のフレイル予防に効果を発揮しています。



テレマン室内オーケストラによる音楽会

最近では自治会離れが問題になっていますが、ここ御池台の地域会館はいつもひとの笑い声が聞えます。ボランティアさんによる「ボランティア喫茶」（2回／月）「ふれあいお食事会」（3～4回／年）は食事とイベントと井戸端会議に花が咲きます。

健康づくりの教室、喫茶、イベントなどあり、地域会館にはいつも多くの方が訪れ、にぎわいのある交流の中心となっています。

御池台は駅からも遠く、若い人に魅力がな

ひとがひとを支え合うまち御池台

いと引越してこない位置にあります。子育て世代や共働き世代が住みやすいまちづくりが、活気あるまちを持続し続けられると考えます。

御池台校区地域福祉活動計画にそったまちづくりをし、「どんな人にも住みやすいまち御池台」をいろいろな世代が協力し、「ひとがひとを支え合うまち御池台」をつくっていくことが、地域の魅力を高め、良好な住環境を維持し、次世代に引き継がれるまちづくりにつなげていきたいと取り組んでいます。

（御池台校区連合自治会

事務局広報委員 松本信雄）



ボランティア喫茶